

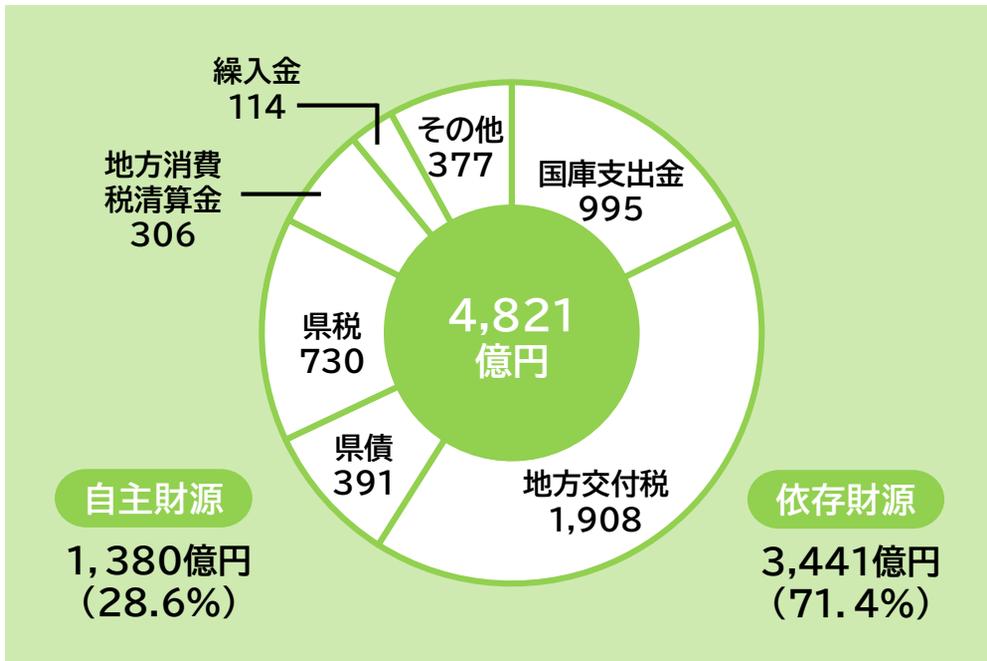


坪内 涼二

県議会レポート VOL. 21

新年度予算 総額4,821億円 感染症対策と島根創生を推進

歳入では、企業業績の回復などにより、県税が前年度比93億円増、地方贈与税等は59億円増となっておりますが、地方交付税は167億円減、県債は31億円増、国庫支出金は感染症対策の交付金により136億円の増となっております。歳出は、災害復旧費等の増により48億円増、職員給与費は退職・期末手当の減などにより、23億円増を計上しています。



歳出項目	支出額	構成比率
総務費	325億円	6.7%
民生費	607億円	12.6%
衛生費	365億円	7.6%
労働費	22億円	0.5%
農林水産業費	415億円	8.6%
商工費	136億円	2.8%
土木費	698億円	14.5%
警察費	206億円	4.3%
教育費	909億円	18.9%
災害復旧費	124億円	2.6%
公債費	663億円	13.8%
諸支出金	337億円	7.0%
その他	13億円	0.3%
合計	4,821億円	

これまで質問等で取り上げてきたことが前進しています

- 教職員の働き方改革の推進(4億5,055万円)**
 教職員が子どもに向き合える時間を確保するため、スクールサポートスタッフ等の追加配置や寄宿舎における外部舎監を配置するもの
- しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業(1億7,100万円)**
 既存住宅のバリアフリー化や子育てに資するリフォームにあわせて実施される感染防止等対応に要する経費の一部を助成するもの
- 不妊治療支援事業(8,591万円)**
 保険適用とならない治療のうち先進医療として実施される治療に要する費用の一部を助成するとともに不妊専門相談センターの体制を強化
- 看護職員等確保対策事業(6億6,603万円)**
 県内進学促進や離職防止等の確保対策を実施
- 江の川流域浸水対策(5億5,825万円)**
 再度被災を防ぐため江の川支流県管理河川の築堤、樋門整備等を実施



河川	予算額 (万円)	実施内容
八戸川	3億1,200万円	今田樋門本体工事、築堤工事
枕の滝川・宮の谷川		建物補償、放水路工事等
玉川	2億3,100万円	用地買収、建物補償
都治川	1,000万円	概略検討



新型コロナウイルス感染症対策・・・159億700万円

ワクチン接種等を行う診療所や病院を支援（9億5,620万円）
 PCR検査体制を確保（4億6,306万円）
 入院患者等の病床確保（89億839万円）
 無症状者等の療養体制を確保（9億9,721万円）
 訪問看護ステーションや診療所等を支援（9億5,620万円）
 自宅療養体制確保事業（1億9,617万円）
 感染症患者の入院医療費を公費で負担（1億3,275万円）
 医療従事者への危険手当補助事業（1億9,500万円）
 医療従事者PCR検査体制を確保（9億5,620万円）
 医療関係の学生が受けるPCR検査費用を支援（2,141万円）
 児童クラブ・保育所の感染症対策を支援（5,485万円）



■ 交通系ICカード整備支援事業（9,631万円）
 感染防止や利便性向上のため、公共交通事業者が実施する交通系ICカード導入に要する経費を助成するもの。
 助成対象者：石見交通株式会社（国・県・市各1/3）

R3年度創設の制度融資の保証料引き下げ（1億7,887万円）
 R2年度制度融資の返済見直しの際の利息等支援（9,525万円）
 観光需要喚起促進事業（60億2,349万円）
 再発見！あなたのしまねキャンペーン（4億5,000万円）
 県独自の特典付き食事券を発行（12億7,461万円）
 農林水産品の県内流通拡大を支援（5,000万円）
 デジタル活用による新ビジネス創出を支援（1億1,500万円）
 宿泊施設等の受入環境の整備を支援（1億円）
 収入減収世帯に生活福祉資金を貸付（1億8,294万円）
 困難や不安を抱える女性やひとり親家庭を支援（853万円）
 修学が困難な生徒等の負担を軽減（7,161万円）

人口減少に打ち勝つための総合戦略の推進・・・143億800万円

新規就農者の確保・定着促進（4億1,916万円）
 持続可能な米づくりへの構造転換（1億4,043万円）
 循環型林業に向けた収益力向上対策（1億561万円）
 漁業の担い手の確保・育成、定着支援（7,497万円）
 美肌県しまねの観光誘客推進（2億2,972万円）
 県内航空路線の利用促進（8,018万円）
 出産後の職場復帰促進（1億463万円）
 若年者県内就職促進（4億6,752万円）
 子ども医療費助成制度（2億4,185万円）
 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援（3億2,657万円）
 少人数学級編制（9億2,701万円）
 小さな拠点づくりの推進（1億7,403万円）
 萩・石見空港の利用促進・機能拡充（12億5,076万円）
 山陰道の整備促進（59億2,500万円）
 浜田港の機能拡充（8億1,390万円）



■ インクルーシブ教育システム構築事業（1億1,806円）
 障がいのある児童生徒に連続性のある多様な学びの場を提供するもの。県教育委員会に合理的配慮アドバイザーの配置や、医療的ケアが必要な児童生徒等に対応するため学校看護師を配置するもの。

県立高校主幹教諭の配置（1億4,119万円）
 しまねのイメージ発信（2億1,608万円）
 国民スポーツ大会競技力向上（2億5,615万円）
 デジタル戦略推進事業（1,176万円）
 骨格幹線の道路整備事業（53億7,365万円）
 海岸漂着ごみ対策（2億5,309万円）
 水力発電所再開発事業（23億8,791万円）
 原子力防災・安全対策事業（13億7,903万円）
 落石対策（25億7,837万円）
 老朽危険空き家の除却支援（1,550万円）
 出雲警察署の整備（2億6,667万円）
 交通管制システム高度化更新（1億5,578万円）

■ 県管理河川へのカメラ・水位計の増設（1億円）
 設置候補箇所を市町村から募り、県内全体で20基のカメラ設置を見込んでおり、江の川流域の支川には5基程度が見込まれています。

